

政務活動費実績報告書

令和2年2月18日

久慈市議会議長 様

会派名 政風会

代表者名 小柳 正人

政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	■調査研究費	■研修費	□広報費	□広聴費	□要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	□資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	令和2年2月12日～13日				
実施場所	①花巻市役所 ②ドローンスクール金ケ崎校				
参加者名	小柳正人、小倉利之、清水崇文、佐々木栄幸(途中帰宅)				
実績額	100,400円				
内 容	1. 岩手県花巻市(花巻市役所) (概要) 日時: 令和2年2月13日午後2時から午後4時40分まで 場所: 花巻市議会会議室、市街地商店街 担当: 建設部都市政策課都市再生室 上席主査 伊藤ケイ子 建設部都市政策課都市再生室 主事 小原 紘 はじめに 政風会一同は、市民共同会派を改め政風会として新たにスタートした。久慈市議会では前任期依頼中心市街地活性化に取り組んでおり、我々会派としても久慈市の大きな課題と捉え結成以来研究してきたところである。また、二日目に予定しております金ケ崎町のドローンスクールは農業の担い手不足から生じる遊休農地の解消や経費節減とITを活用したスマート農業について研究し、当市の第一次産業の発展に寄与する事を目的に視察した。当初は5人全員での参加予定だったが、大沢俊光議員は予定日の直前に親戚のご不幸が、また佐々木栄光議員は当日花巻市役				

所に到着と同時に訃報が入り急遽帰宅を余儀なくされた。これまでも、大沢・佐々木両議員とも農業政策をはじめ観光交流政策に研究をされており今回の視察も大変楽しみにしていたところであった。研修は5名中3名での参加となった~~た~~が、久慈市の課題解決の一助となるよう会派内での共有は勿論、議会内でも共通のテーマとして今後に生かしたい。

研修報告は、初日の花巻市、2日目^のと金ケ崎町とそれぞれ報告^{リッ}いたします。

①花巻市：まちなかりノベーションスクールの取り組み

花巻市は平成18年大迫、石鳥谷、東和町と合併し、当時は人口も約106,000人であったが、現在は約96,000人ほどになり、中心市街地に55ヶ所の空き店舗がある状況とのこと。そこで2017年度からリノベーションまちづくり(遊休化している空き店舗や空き地を活用し、新しいビジネスと担い手の育成を図り、産業と雇用の集積を推進する)を目指し、リノベーションスクールを開設、第1回は2017年10月6日～8日の3日間花巻市上町マルカンビルで開催し、市内外から女性9人、男性15人の受講者があり、平均年齢32歳であった。内容は遊休不動産をオーナーから提供してもらい、8人程度のチームを組み、地域経営課題の分析、それらを複合的に解決する企画や事業収支の立て方、デザインやプレゼンテーション手法などを学びながら、その物件を活用した事業プランを作り、オーナーに提案するとのこと。2018年11月に第2回、2019年7月に第3回をそれぞれ3日間開催した。結果として2018年以降旧旅館をリノベーションしたゲストハウスや旧土産店舗をリノベーションしたクラフトビール醸造所等6店舗を半径200mのエリアに集中させ開業している。議会会議室での説明後、商店街を説明を受けながら視察したが、空き店舗の多さとリノベーションされた店舗で快活にコミュニケーションが飛び交う光景のギャップを痛感させられた。花巻市におけるリノベーションまちづくりは緒についたばかりであり、今後の課題としては、同手法でいかに成果を出しても、持続可能な産業と結びつき、人とお金の内需循環に到達しなければ無意味であろうと考え目標値の設

定を独自で研究中とのことである。

(提言)

久慈市においても市街地の活性化と魅力あるまちづくりを推進することにより、交流人口の増加を目指すならば、若者や市民の自己肯定感を高めるスキルと活性化に対する意識の醸成策が必要と思われ、リノベーションスクール等の開設を積極的に実施すべきと考える。

(その他)

花巻市は2018年に岩手県で唯一、地方再生コンパクトシティモデル32都市に選ばれ、テーマは、「遊休不動産と公共空間の効果的な活用を推進するエリアリノベーション事業」とのことである。

2. 岩手県金ケ崎町（ドローンスクール岩手金ケ崎校）

近年、農業や巡視点検など様々な分野で利活用されているドローン（小型無人航空機）について県内最大の屋内ドローンスクール岩手金ケ崎校で研修した。

講師：真柴商会株式会社代表取締役 菅谷忠寿(スガヤタダヒサ)様
インストラクター 千葉信明、他1名（補助者）

①ドローンスクールの概要

当スクールは、空撮・巡視点検など、ドローン操縦に必要な技能の取得や農薬散布コースなど2日～5^日間の資格取得のための研修ができる。また、出張研修も受け付けているとのこと。近年ニーズが高まっているスマート農業の推進でコスト縮減や担い手不足解消に有効である。

- ・回転翼3級コース（2日間）200,000円
- ・農薬散布コース（5日間）216,000円
- ・飛助コース（3日間）180,000円
- ・他講習（目視外飛行、夜間飛行、危険物輸送、物件落下、高高度飛行）

(半日間) 30,000 円

年間 20 名強の受講者がいて近年増加傾向にある。

他に、A I ・測量・建設関係の施工管理を行っており、これからの久慈の農業・建設産業の技術者不足やA I 産業に大変優位である。漁業を営む当市では、夜間飛行による密猟巡回警備等にも有効な手段である。

②申請書の作成

- 1) 一括申請・・・一個の申請書でありイベント等の申請書の作成
- 2) 包括申請・・・一年間有効な申請（3 ヶ月に一度報告義務）
- 3) 代行申請・・・行政書士による申請

③安全運航に関する規制

- 1) 航空法、2) 民法 207 条、3) 道路交通法 77 条、4) 小型無人機等禁止法、5) 電波法、6) プライバシー関連について学んだ。

2 km² 区域内に 4000 人以上いる場合は許可が必要となる。

10 時から 11:00 まで座学を行い 11:00～11:30 まで駐車場において実地研修を行った。

既に述べたように、現状の航空法の規制では、人や家屋が多く集まる地域の 上空や、空港周辺や航空機の安全に影響を及ぼすおそれのある高度のほか、お祭りやイベント で一時的に多く人が集まる場所等においては、飛行が原則禁止されている。今後、宅配への利用など、ドローンの商業利用を見据えた場合、事故等が起こった際の賠償等のあり方、保険のあり方、罰則等のあり方、機体の 登録制もしくは免許制等の導入の是非も今後の課題と思われる。また、ドローンによる宅配サービスを確立するためには、安全にドローンを運航させるための方策が必要となり、その中でもドローン専用の空路の設定が可能かどうか問題となる。そのため、航空法の規制緩和や航空特区の可能性も模索されている。いずれにしても③で列記した一般の法律の緩和があれば一般市民の普及につながると思う。

(提言)

近年、頻発する台風災害や大雨洪水、火災現場での調査、測量、巡回監視、建設現場での施工管理をはじめ、宅配産業や農業現場でも農薬散布や種苗の育成観察など広く使われている。当市においても、高齢化社会や農業の担い手不足解消、経費削減について考えた場合、ドローンスクールで学び事業を展開している受講生の殆どは、異口同音、社内における技術者養成や初期投資の負担軽減について課題としている。

久慈市として議会としてもITを活用したスマート農業、孤立集落への宅配や情報伝達に有効に活用出来るように思い切ったシフトチェンジし若い世代の新産業と位置づけ取り組むべきと考える。

以上

1. 令和2年2月12日（水）岩手県花巻市（花巻市役所）



花巻市役所前にて



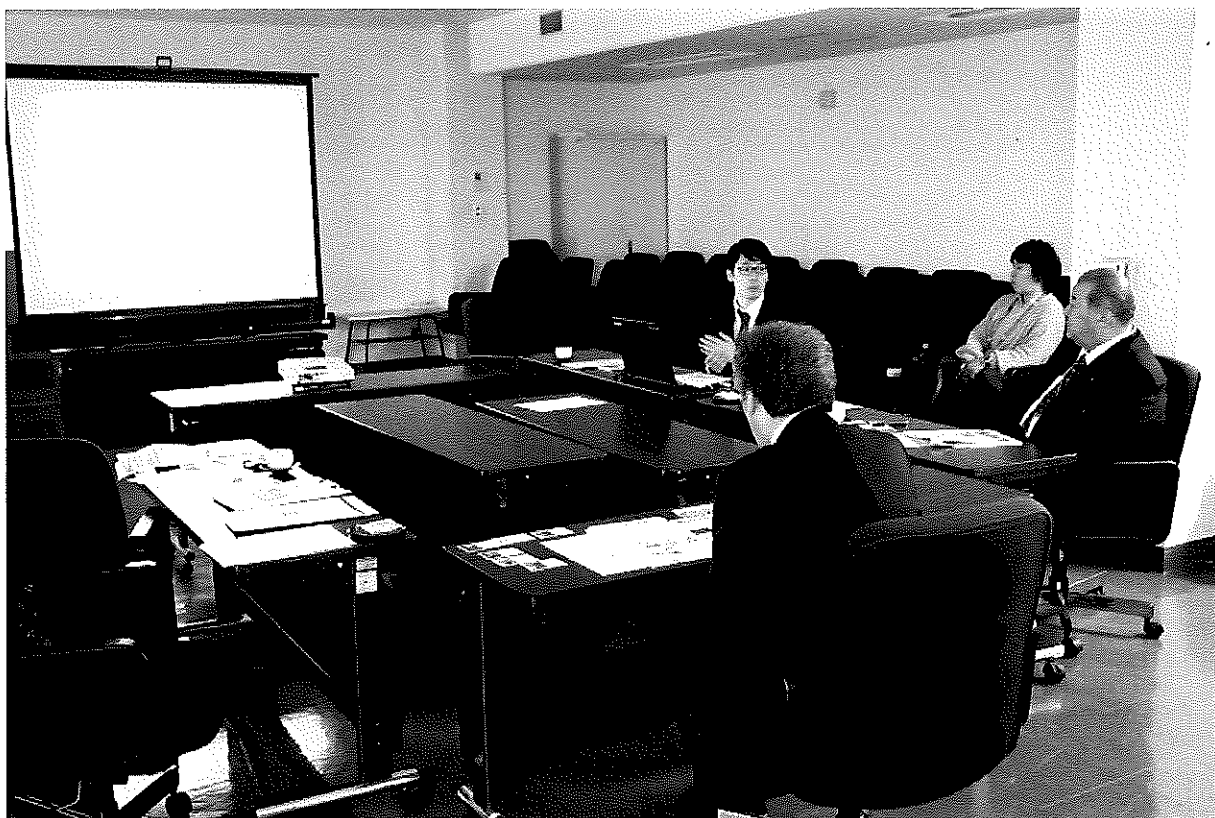
研修会場で開会前の政風会メンバー



政風会 小柳代表の挨拶



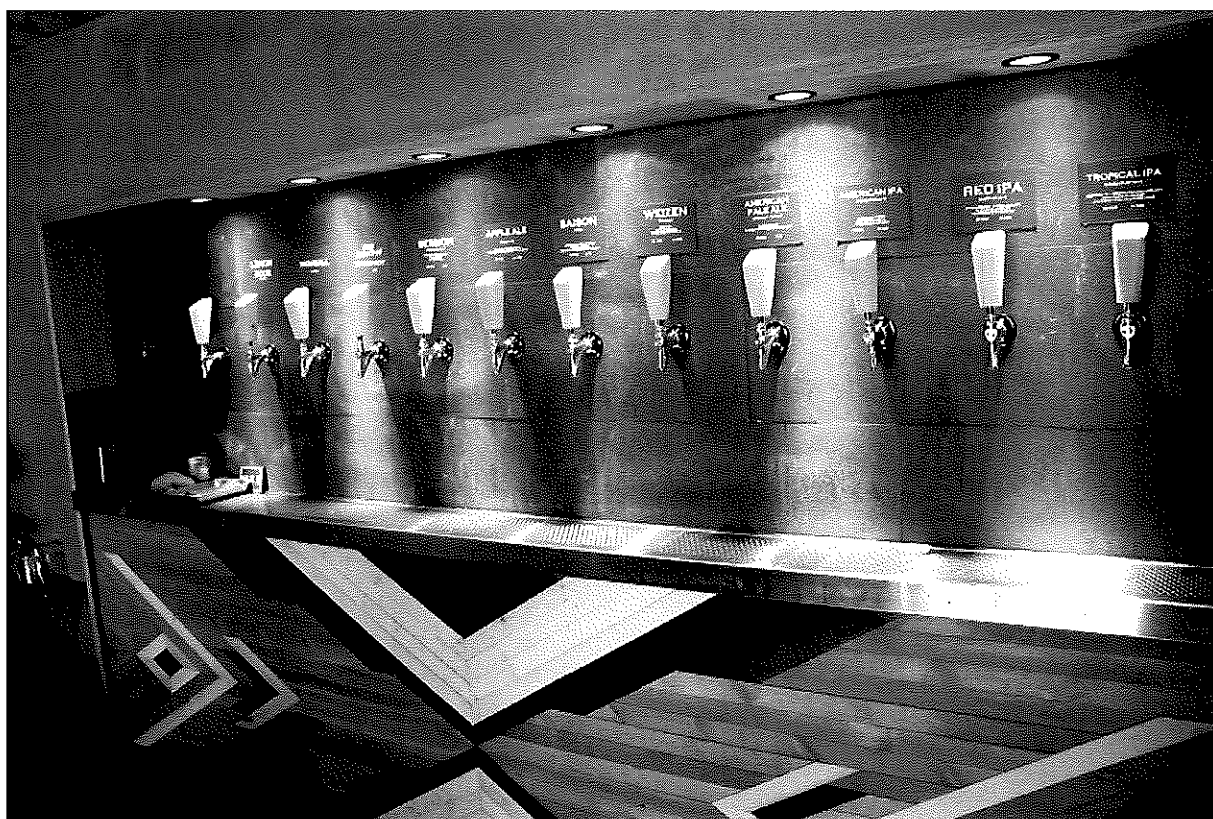
建設部都市政策課都市再生室 伊藤ケイ子上席主査と小原紘主事と政風会小柳代表



小原主事によるリノベーションスクールの概要説明



リノベーション成功事例① 花巻駅前の「Lit Work Place」



花巻駅前の「Lit Work Place」のビアサーバー



花巻駅前の「Lit Work Place」のビア樽



早期のリホームが待たれる「マルカンビル」



リノベーション成功事例② ゲストルーム



リノベーション成功事例② ゲストルームの価格



中心市街地を案内していただいた小原主事と政風会メンバー

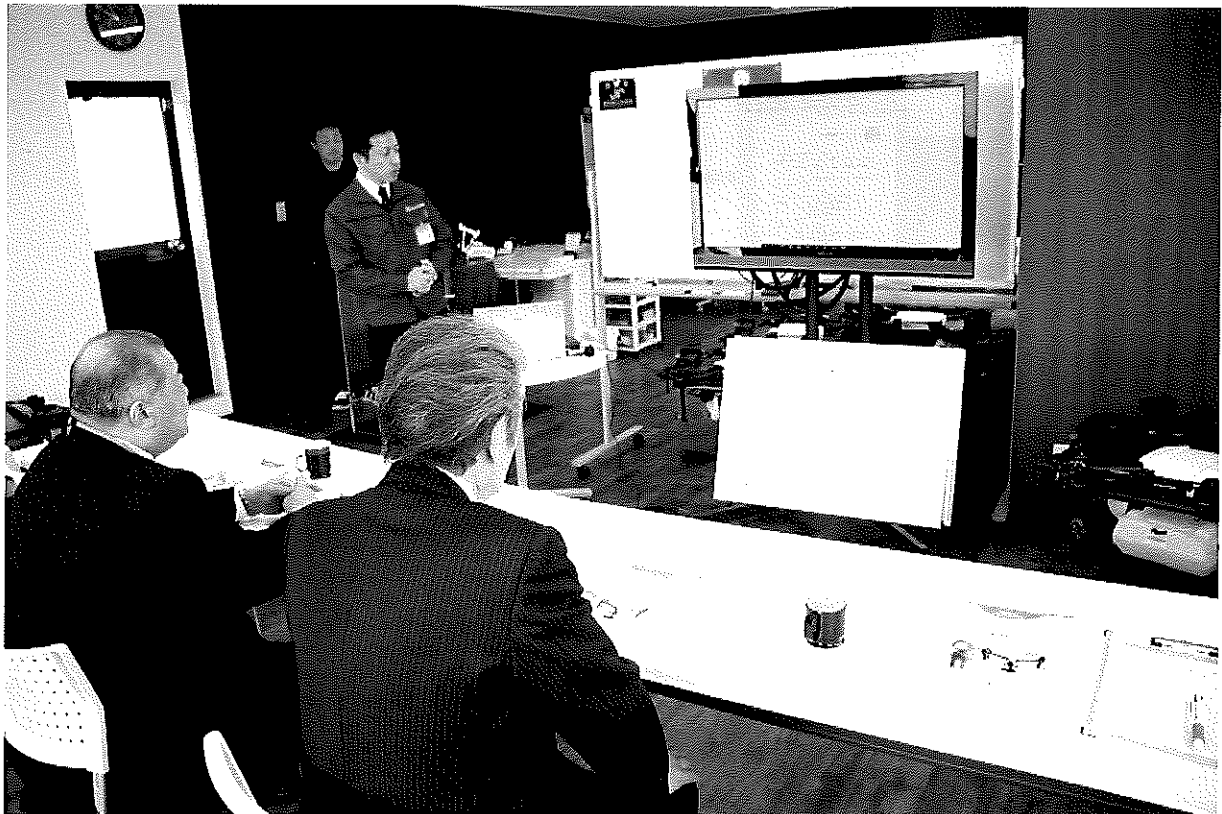


花巻市の夜景

2. 令和2年2月13日（木）岩手県金ケ崎町（ドローンスクール岩手金ケ崎校）



ドローンスクール金ケ崎校前



菅谷代表による概要説明



千葉インストラクターによる座学



千葉インストラクターによる農薬散布の実演



人気のマビックミニ（許可不要）



夜間飛行で発光や鳥獣駆除の活用される



農薬散布や物資の宅配に活躍している DJI 社の「MG-1」

領 収 書

No.

令和
平成 2 年 2 月 13 日

政 府 会 様

金額	¥	8	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---	---

但し タクシー代・バス代・チケット代・他

(ジャンボタクシー代) 花巻-相模

上記、正に領収致しました

係 印



株式会社 三河交通観光

代表取締役 三 河 博 之

久慈市中央2丁目13番地

☎ 0194-53-6161 FAX 0194-53-6163



内 訳

現 金	
小切手	
振 込	



HOTEL
GRAND CIEL HANAMAKI

ホテル グラン シェール 花巻

〒980-0801 岩手県花巻市大森町1丁目6番14号
TEL 01960-22377 FAX 0196-51111

明 細 書
STATEMENT

お部屋番号 ROOM	お名前 NAME (Mr. Mrs. Miss)					
■	政風会 様					
ご到着 ARRIVAL	ご出発 DEPARTURE	発行日 BILL ISSUED	大人 ADULT	小人 CHILD	幼児 INFANT	PAGE
2020/02/12	2020/02/13	2020/02/13	1			1

日 付 DATE	部屋 ROOM	摘 要 EXPLANATION	金 額 AMOUNT	消 費 税 CON. TAX	お 支 払 CREDIT
02/12		預り金			20,400
		ご宿泊料	6,800		
		ご宿泊料	6,800		
		ご宿泊料	6,800		
小 計 SUB TOTAL			20,400		20,400

請求先 CHARGE TO	ご請求金額 TOTAL BALANCE	0
ご署名 SIGNATURE	BILL 担当 ■■■■■	

PAID
20.2.13
領収済
ホテル グラン シェール 花巻

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
伝票等につきましては、すでにお渡し済みでございますので再発行致しかねます。

Thank you. May we have the pleasure of serving you again.